

豊かで充実した老後を 漁業者年金

ひとりば万人のために、万人はひとりのために

去る八月十九日、明石海浜公園臨時球技場において、兵庫県漁青連主催による第一回兵庫県漁青連会長杯争奪ソフトボール大会が、一三チーム(約一〇〇名)の参加のもと、盛大に開催されました。本大会は昨年度においては、雨天のためやむなく中止となりまして、今回が天候に恵まれ、炎天下の中、白熱した試合が繰り広げられました。

今回も前回同様、リーグ制とトーナメント制を組み合わせた形式で試合が進められ、予選リーグの勝点により、優勝、森、明石浦、B、準優勝、飯屋、漁協4H

第十二回兵庫県漁青連会長杯争奪ソフトボール大会開催

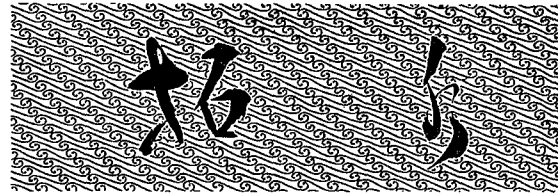
去る八月十九日、明石海浜公園臨時球技場において、兵庫県漁青連主催による第一回兵庫県漁青連会長杯争奪ソフトボール大会が、一三チーム(約一〇〇名)の参加のもと、盛大に開催されました。



豊かな海はみんなの願い 第十五回 豊漁祈願祭

豊漁祈願祭は、漁業関係者の安全と永遠の豊漁を祈願する。去る七月二十九日、本市垂水漁港に於て行われ、初めに陸上行事に続き、海上行事に於て行われ、豊漁祈願祭は、漁業関係者の安全と永遠の豊漁を祈願する。去る七月二十九日、本市垂水漁港に於て行われ、初めに陸上行事に続き、海上行事に於て行われ、豊漁祈願祭は、漁業関係者の安全と永遠の豊漁を祈願する。

豊漁祈願祭は、漁業関係者の安全と永遠の豊漁を祈願する。去る七月二十九日、本市垂水漁港に於て行われ、初めに陸上行事に続き、海上行事に於て行われ、豊漁祈願祭は、漁業関係者の安全と永遠の豊漁を祈願する。



9月号 No. 395 一部 10円

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会(財) 兵庫県水産振興基金 神戸市兵庫区中之島 2-2-1 TEL 681-6954~7 発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

全国漁協オンラインシステム開通

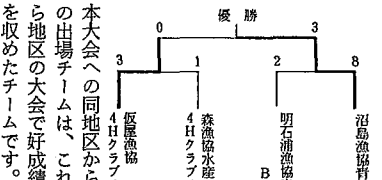
兵庫信用漁業協同組合連合会では、去る七月二十四日、貯金業務二信連全店舗での為替業務が全国オンラインシステムへ移行したのを記念してセレモニーを行いました。当日は、農林中央金庫神戸事務所矢野専務長にもご出席いただき、木下会長、天野専務の三名によるテープカットののち、木下会長が開通キープし貯金業務が稼働いたしました。

兵庫信用漁業協同組合連合会では、去る七月二十四日、貯金業務二信連全店舗での為替業務が全国オンラインシステムへ移行したのを記念してセレモニーを行いました。当日は、農林中央金庫神戸事務所矢野専務長にもご出席いただき、木下会長、天野専務の三名によるテープカットののち、木下会長が開通キープし貯金業務が稼働いたしました。

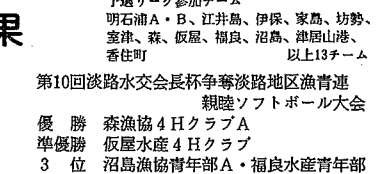
由化が本格的に進展する中、小口M.M.C.その他多種多様な金融商品への対応、組合員等漁協利用者への金融ニーズの多様化、利便性・迅速性の要求などに適格に答えるためには、オンライン化は必要不可欠であり、現在、移行のための準備作業が鋭意進められているところであります。



去る八月十九日、明石海浜公園臨時球技場において、兵庫県漁青連主催による第一回兵庫県漁青連会長杯争奪ソフトボール大会が、一三チーム(約一〇〇名)の参加のもと、盛大に開催されました。



淡路・但馬地区ソフトボール大会結果



第九回淡路水交会長杯争奪淡路地区漁青連親睦ソフトボール大会
優勝 森漁協4HクラブA
準優勝 飯屋水産4Hクラブ
3位 沼島漁協青年部A・福良水産青年部

第三回船員労働安全衛生月間開始まる

九月一ヶ月間は、毎月、船員労働安全衛生月間です。運輸省神戸海運監理部が中心となり、船員災害、疾病の撲滅に向け、次のような取組が行われることになっていきます。

九月一ヶ月間は、毎月、船員労働安全衛生月間です。運輸省神戸海運監理部が中心となり、船員災害、疾病の撲滅に向け、次のような取組が行われることになっていきます。

豊かな海はみんなの願い 第十五回 豊漁祈願祭

豊漁祈願祭は、漁業関係者の安全と永遠の豊漁を祈願する。去る七月二十九日、本市垂水漁港に於て行われ、初めに陸上行事に続き、海上行事に於て行われ、豊漁祈願祭は、漁業関係者の安全と永遠の豊漁を祈願する。

豊漁祈願祭は、漁業関係者の安全と永遠の豊漁を祈願する。去る七月二十九日、本市垂水漁港に於て行われ、初めに陸上行事に続き、海上行事に於て行われ、豊漁祈願祭は、漁業関係者の安全と永遠の豊漁を祈願する。

豊かな海はみんなの願い
第十五回 豊漁祈願祭
豊漁祈願祭は、漁業関係者の安全と永遠の豊漁を祈願する。去る七月二十九日、本市垂水漁港に於て行われ、初めに陸上行事に続き、海上行事に於て行われ、豊漁祈願祭は、漁業関係者の安全と永遠の豊漁を祈願する。

オンライン網の構築

漁協系統信用事業のオンライン化今後の課題は「オンラインシステムへの漁協参加増加(最終的には全漁協の参加)と今後どのようにオンラインを生かしていくか」である。

なぜ漁協の参加率を増やさなければならぬかを、個々の漁協の立場と漁協系統全体から考えてみる。

(1) 漁協にとってオンライン化とは

今後ますます進展するであろう金融の自由化、それに伴う新商品に対応していくためにオンライン化は必須条件になっていく。これらの新商品はほとんど複雑化しており、手作業で処理していくとはますます不可能である。

窓口機などの小型コンピュータを使って処理することも考えられるが、その容量、処理時間等の問題があり、そもそもそのソフトを開発する(または購入する)費用を漁協が単独で次々に負担していくのは極めて困難であろう。

また、オンラインシステムでは共同利用のメリットを生かして、後方事務の省力化を図ることができ、当然その恩恵を蒙るのはオンラインに移行した漁協だけである。では事務の省力化の効果はどうか。事務の省力化は決して人を削減することではなく、時間を作ることである。

銀行等ではオンライン処理による事務の省力化により余った時間を漁協に活用して、

現在、我々漁協系統を除く金融業態ではオンラインは既にあり、まのこのこととして取り扱われていて、個々の銀行の業務だけでなく、業態としての方策もオンラインをベースとして進められている。カード業務などで他

個々の漁協・信漁連はオンラインを利用しての業務を行っているが、漁協として業務を行う場合、システムという観点から見て「オンライン網の完成はまだまだ先の完成である」としか言えないのではないだろうか。

業態・他業種との業務提携を行う場合でも、業態としてのオンラインが構築されていることが前提である。特に平成二年の春から夏にかけて都銀、地銀を中心に各金融業態間のC/Dオン提携が予定されているが、我々漁協系

以上、全国漁協オンラインシステムの今後の課題を簡単に述べたが、今後我々はどう対応していけばいいのかを「平成元年度漁協信用事業推進方策」を中

問題点を改めて考える必要がある。オンライン参加の一番の阻害要因となっている費用の問題については、「オンラインは運営していくためにはかなりの費用がかかるのではないか」と懸念されているが、はたしてそうであろうか。

現在、信用事業の運営にどれだけの費用がかかっているのか、その中でどのような業務を営んでいるのか、オンラインに参加しただけで余計に費用がかかる、その費用に対して今後だけのことが可能になるのか。

金融機能の充実には金融機関という公共性の高い団体として当然の責務がある。然るべきことであるが、もし他の銀行の

ように単独でオンラインに挑んでいくとしたらどれだけの費用がかかっているのか。

これらのことを考えると、何のためにオンラインに着手したのかという点を再度考えてみる必要がある。個々の漁協にとってオンラインに参加することはそれなりに意味のあることであるが、それだけでは漁協の経営基盤そのものを揺るがすものも少なくない(例えば貯蓄・貸付・融資・保証等の機能)が、それだけでは十分には発揮できない。前述のとおり、漁協系統としてのオンライン網が構築されたときこそ漁協オンライン網としての機能が発揮できるのである。

オンラインの活用という課題に対しては、併・事業統合等の漁協の組織問題に入り込んでいく必要がある。漁協の組織問題に入り込んでいく必要がある。漁協の組織問題に入り込んでいく必要がある。

低下現象等の海洋環境の変化を反映しているものと考えられます。播磨灘における海洋観測は今後も続けられます。

(資源部 中村行延)

ATMの導入、他業種との提携、カード業務の展開等に重点的に取り組んでいきたい。

漁協系統信用事業のオンライン化

今後の課題は……

全漁連 信用事業推進部

心の参加推進についてはオンライン端末機共同利用システムの活用を図ると共に、「なぜ漁協にオンラインが必要か」、「なぜ漁協系統としてオンライン網を構築しなければならぬのか」等の

問題点を改めて考える必要がある。オンライン参加の一番の阻害要因となっている費用の問題については、「オンラインは運営していくためにはかなりの費用がかかるのではないか」と懸念されているが、はたしてそうであろうか。

現在、我々漁協系統を除く金融業態ではオンラインは既にあり、まのこのこととして取り扱われていて、個々の銀行の業務だけでなく、業態としての方策もオンラインをベースとして進められている。カード業務などで他

以上、全国漁協オンラインシステムの今後の課題を簡単に述べたが、今後我々はどう対応していけばいいのかを「平成元年度漁協信用事業推進方策」を中

問題点を改めて考える必要がある。オンライン参加の一番の阻害要因となっている費用の問題については、「オンラインは運営していくためにはかなりの費用がかかるのではないか」と懸念されているが、はたしてそうであろうか。

現在、我々漁協系統を除く金融業態ではオンラインは既にあり、まのこのこととして取り扱われていて、個々の銀行の業務だけでなく、業態としての方策もオンラインをベースとして進められている。カード業務などで他

以上、全国漁協オンラインシステムの今後の課題を簡単に述べたが、今後我々はどう対応していけばいいのかを「平成元年度漁協信用事業推進方策」を中

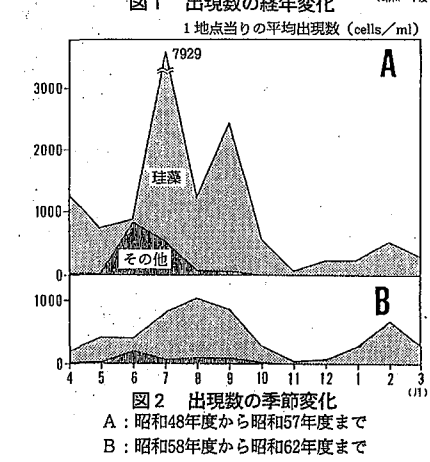
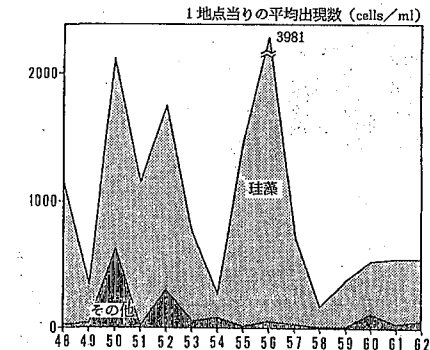
水試レポート

播磨灘に出現する植物プランクトンについて

水産試験場では大正一四年から播磨灘において海洋観測を実施しています。昭和四十七年より現在の調査地点(九定島)となり、昭和四十八年からは植物プランクトンの出現状況を把握することを目的に、採水プランクトン調査を行っております。昭和六三年度の調査が終了した時点で五年間のデータが蓄積されましたので、その解析結果を基に播磨灘

この一五年間に出現した植物プランクトンは二七種でした。出現種別のグループ別(網別)の内訳を表1に示しました。スケルトナマ・コスタタム等を含む珪藻が七五種と最も多く、全体の五九%を占めました。次に多いのは渦鞭毛藻で、三八種出現しており、

グループ名	出現種数	主要種
珪藻	75	スケルトナマ・コスタタム、キートケロス
渦鞭毛藻	38	ギムノディニウム、ノクテルガ(夜光虫)
ラフィド藻	5	シャットネラ、ヘテロシグマ
黄金色藻	4	ディクテオカ
ユーグレナ藻	3	ユートレプティエラ
プランクトン藻	1	
緑藻	1	



赤潮テレホン情報
いつも新しい情報を用意しています。ご利用下さい。
TEL 078 942-1534



新組合長紹介

このたび新しい企画として「新組合長紹介」の欄を設けました。今後は新しく就任されるたびに紹介する予定です。(今回は昭和六十四年一月一日から平成元年七月三十一日の間に就任された方々を対象とさせていただきます。)



③役員経験の少ない私ですが、組合員間の和を大切に、関係団体、上部団体、又近隣漁協の経験豊かな各組合長の御指導を得ながら頑張っていくつもりです。又、去る五月の当漁協第一〇回総会で申し合せた通り、海難の無事故を達成し、来年五月予定の第一回総会には全組合員の元気な顔が見られる事を念じております。そして、日々を大切に、役員の仕事を得ながら漁協としての従来からの諸問題に私なりに取りこんでいきたいと思っております。

①理事二年
②就任日
③抱負

八木漁業協同組合 組合長 須多 和秀 (大正十三年一月一日生)

赤穂漁業協同組合 組合長 広島 重利 (昭和五年三月二十九日生)

富島漁業協同組合 組合長 三木富士雄 (大正十一年三月二十八日生)

浅野浦漁業協同組合 組合長 森 侑 (昭和三年二月三日生)

室津浦漁業協同組合 組合長 岡野 修 (昭和七年七月一日生)

沼島漁業協同組合 組合長 青石 協 (昭和五年三月九日生)

兵庫県瀬戸内海海区 漁業調整委員会委員協議会を原中央労働センターで開催

八月二日 全園漁業調整委員会連合会に沿岸漁業調整問題検討会が設置されているので、今年度の三課題について事務局から説明があり、一〇月の全園調連西日本ブロック会議までに当海区の意見をまとめることになりました。

八月二日 但馬海区漁業調整委員会公聴会を但馬水産事務所会議室で開催

八月二日 但馬海区漁業調整委員会公聴会を但馬水産事務所会議室で開催



幸い、本年度より新沿岸構造改善事業の発足に伴い、これら転換期を迎えつつある漁業

このように漁業環境の中で、漁協運営に携わる者として、大きな役割と責任を痛感している

指し、漁家経営の安定を図りたい。一方、漁船漁業に於いても、魚価の安定を図るため販路開拓等により流通機構の強化を考えたい。

また、漁協内部の基盤強化に努め、組合員並びに漁協職員が、事業運営に一体となって取り組む組織作りが重要であると考える。

最後に、青年部、婦人部の組織強化を図るため、新設された町民サンビーチでの観光漁業に取り組みたい。

このことから、漁場管理と漁場利用のための内部調整に取り組みたいと考える。

また、後継者の花嫁等の問題が絶えない。問題にも取り組み、後継者の育成を図ることにより、人的基盤を強化し、漁村社会の活性化を図りたい。

公聴会における関係者の意見を踏まえ審議の結果、原案どおりで差支えない旨を申し述べて決定しました。

一、特定漁種漁場整備調査委託事業(スワイガニ)について(報告)

但馬魚便り 5

イガイ

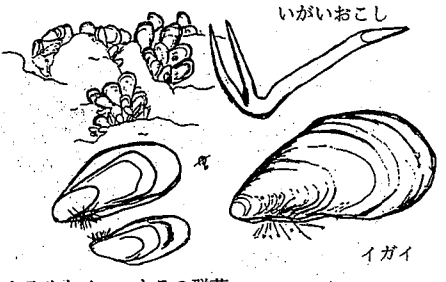
いわゆる内海側でいう「せとがら」のごとで本邦各地の急潮流の岩礁地帯の五〜三〇mの深さに分布します。足糸で岩の割れ目などに付着し群落を形成します。足糸を切り、新しい足糸を出して若干の移動はしますが一生同じ場所での生活です。内海では春先の生殖巣が充実している時、茹

で上げたものをからし味噌などで食べるのが一般的です。ところが但馬地方では七〜八月の夏がイガイの旬。料理は「いがいめし」が主。お盆のお客さんのもてなしなどにも出されます。これを食べないと夏を越せないという人もいます。魚市にも磯物のサザエなどに混ざって

一方、小さな貝の「いがいめし」もあり盛り(七〜八個)四〇〇円位で売られておりまして「焼貝」や「フライ」にしてもおいしくいただけます。

イガイは潜水や磯里(いさり)で獲られます。ムラサキイノコの方は売買よりむしろ自給自足。挿図に示したようなイガイのおこしでガリガリとかき取ってきます。陸から容易に行けるような場所では一夏で獲り尽くされ、磯がきれいになってしま

まう程です。(但馬水産事務所試験研究室)



ムラサキイノコとその群落

平成元年8月19日 神戸海洋気象台 9・10・11月の3か月予報 兵庫県 大阪管区気象台発表 秋雨前線の活動は不活発で、冬のはじめは早い見込みです。9月1日始めはぐずった天気ですが、その後は周期的に変わります。後半を中心に気温が高い見込みです。10月1日引き続き天気は周期的に変わります。後半は寒気が入り、冷え込む時期がある見込みです。11月1日時々冬型気圧配置となり、太平洋側では晴れて寒い日が多いでしょう。日本海側ではしぐれる日が多い見込みです。

漁業者の水揚げも向上 これらのことから、漁場管理と漁場利用のための内部調整に取り組みたいと考える。また、後継者の花嫁等の問題が絶えない。問題にも取り組み、後継者の育成を図ることにより、人的基盤を強化し、漁村社会の活性化を図りたい。

